

継続利用されるP&BRの要因分析

—岡山市・赤磐市を対象として—

社会システム計画学研究室2009年度卒業研究 森山尊弘

研究の背景

慢性的な交通渋滞 公共交通機関の衰退化
二酸化炭素排出量増加による地球温暖化

→ P&R (P&BR, P&RR)

日本でもS50年頃からP&Rの導入が開始されたが...

社会実験止まり P&Rが利用されない
途中で中止する 実施後の調査不足

- ・P&Rの継続要因を把握していない
- ・対象としている事例が短期的...

自動車利用に起因する社会問題を解決するには...

人々がP&Rを自主的に選択し、継続していくシステム形成

研究の目的

利用率が高く、長期的に実施されている稀な例

岡山のP&BR (H12~) に着目

→ 継続利用者と非継続利用者(利用中止者)に分類

人々がP&BRを継続利用、中止する要因を把握
→ 今後、継続利用されるP&BRの要因を明らかにする

分析結果

(分析の一部)

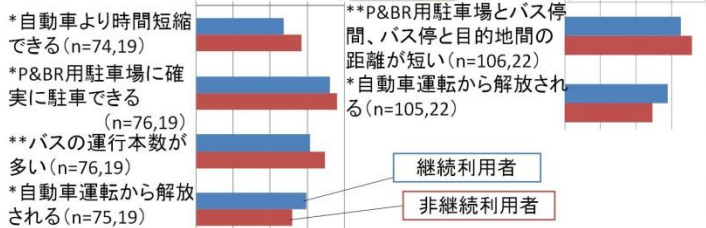
継続利用者と非継続利用者のP&BR継続に重要なもの

項目 岡山市 赤磐市

自動車より時間短縮できる	バスの乗り心地が良い
自動車より費用が安くすむ	バスの運行本数が多い
バスの走行、到着時間が正確である	自動車運転から解放される
P&BR用駐車場に確実に駐車できる	会社からの通勤手当が充実している
P&BR用駐車場とバス停間、バス停と目的地間の距離が短い	会社から車通勤を禁止されている
バスの中で時間を有効に使える	

岡山市

赤磐市



・継続利用者は自動車運転に負担を感じている傾向
・時間短縮、駐車の実確性、運行本数増便
→ 非継続利用の抑制

・継続利用者は自動車運転に負担を感じている傾向
・P&BR用駐車場とバス停の距離の調節
→ 非継続利用の抑制

調査対象事例について

- ・岡山市や岡山県、岡山県バス協会などによる「岡山市パーク・アンド・バスライド実行委員会」のP&BR施策
- ・H11.3~ 試行期間、H12.9~ 本格実施
- ・H21.11 環境保全の貢献で国土交通省中国運輸局長賞受賞

	岡山市	赤磐市
専用割引バス定期券の購入	○	—
商品券の購入	○	—
駐車場	商業施設の駐車場 県営駐車場	高架下の駐車場

岡山市と赤磐市のP&BRは異なったシステム

アンケート調査について

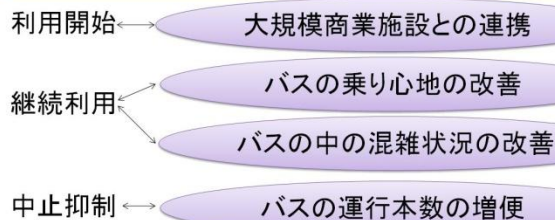
調査対象都市	岡山市	赤磐市	計
調査時期	2010年1月5日(火)~12(火)		
調査票配布枚数	234	269	503
回収サンプル数	97(継続利用者76+ 非継続利用者21)	141(継続利用者111+ 非継続利用者23)	238
回収率	41.5%	52.4%	47.3%
調査項目	①P&BRの利用について ②P&BRに対する評価について ③日常の交通行動 ④日常の意識・生活 ⑤個人情報		
調査方法	郵送配布郵送回収		

結論

両市に共通していること

- ・満足度、利用意...P&BRを1回利用することで高まる
- ・利用中止...P&BRに不満を持っている人は少なく、中止理由は **やむを得ない理由**
- ・交通手段に対する意識や利用頻度の違い
継続利用者 ... **自動車 < 公共交通機関**
非継続利用者 ... **自動車 > 公共交通機関**

岡山市のシステム



赤磐市のシステム



政策反映により継続利用されるP&BR